



青森県漁業者協議会 開催



平成14年度「青森県漁業者協議会」が、去る3月25日、青森県水産ビルで開催された。今年度の会議内容は、平成13年度からスタートした「資源回復計画」の進捗状況及び各地区における漁業者協議会の概要について説明・協議がなされ、県・県漁連が漁業者に指導し漁業者自らが方針・方向性を持ち、利益につながるよう一体となって取り組むことで合意した。

なお、各地区の協議会のまとめについて次のとおり。

- (1) むつ湾地区
マダラを対象魚種にするか協議をしたが、北海道との関連があるので今後県に話し合いの場を設けてもらい、その内容により対応する。
- (2) 日本海地区
対象魚種をマガレイに選定。また手法について刺網は操業期間の短縮、定置網・底建網は小型魚の放流で決定。
- (3) 太平洋地区
対象魚種である沖合性カレイ類の資源回復措置について保護区の設置を決定したことの報告がなされた。また新しい対象魚種についての協議では選定をしないこととした。